

※当研修会は中止になりました

令和3年度 全国私立中学高等学校 私立学校特別研修会

英語 4 技能教育特別部会(西日本エリア) 実 施 案 内

一般財団法人日本私学教育研究所 主催／日本私立中学高等学校連合会 後援

当研修会は英語 4 技能教育に係る英語教育担当教員の指導力強化を目的として実施しています。
西日本エリアは東日本エリアと同内容で開催し、加えて修道中学校・修道高等学校の学校視察を行います。
英語教授の理論から実践までを扱い、英語 4 技能教育のさらなる指導力強化を目指しながら、
ニューノーマル時代の英語教育のあり方を探ります！

◆ 会 期 ◆	令和 4 年 2 月 25 日(金)・26 日(土) 【中止】
◆ 会 場 ◆	<u>修道中学校・修道高等学校</u> 広島市中区南千田西町 8-1 (広島電鉄御幸橋駅より徒歩 5 分)
◆ 募集人員 ◆	50 名
◆ 参 加 費 ◆	23,000 円 (2 日分の昼食費を含みます。宿泊費は含みません。)
◆ 参加対象 ◆	私立中学高等学校の英語科教員 ※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校
◆ プログラム ◆	
学校視察	視察校 <u>修道中学校・修道高等学校</u> (学校紹介／視察校発表／授業視察)
実践発表①	テーマ「創造性と英語教育」(仮) 発表者 <u>中川 千穂</u> 工学院大学附属中学高等学校教諭
実践発表②	テーマ「ICT を活用したニューノーマルな授業のあり方」(仮) 発表者 <u>岩瀬 俊介</u> 学校法人石川高等学校・石川義塾中学校教諭
Workshop	講 師 <u>Tanja McCandie</u> ケンブリッジ大学出版 Japan Lead Teacher Trainer 英語教師のための 4 技能指導に関する研修プログラム(英語で行います。) ・コミュニケーション・ランゲージ・ティーチングの特徴を確認し、クラスで使うことができる コミュニケーション・アクティビティを学びます。 ・実践的なアクティビティを学び、教科書を使いながらどのようにアクティビティを取り 入れるかアイデアを共有します。レッスンプランの作成、評価、デモレッスンを行います。 ※Workshop では、ご自身がお使いの教科書を使用しますのでご持参下さい。

◆ 日 程 ◆										
2/25 (金)	9:00 受付	9:30 開会式	9:50 実践発表 ①	10:30 視察校紹介 施設見学	11:05 授業視察 (3 限)	12:05 昼食	12:45 授業視察 (4 限)	13:45 視察校発表 研究協議	14:30 実践発表 ②	15:30～17:30 ワークショップ I
2/26 (土)	9:00	ワークショップ II			12:10 昼食	13:00	ワークショップ II		16:00～16:30 閉会式	

※当研修会は中止になりました

◆ 日 程 表 ◆

2月25日(金)

〔会場 修道中学校・修道高等学校 本館 3 階大会議室〕

9:00-9:30	受付〔本館 1 階ロビー〕																				
9:30-9:50	開会式 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開 会 2. 主 催 者 挨 拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 3. 視 察 校 代 表 挨 拶 田原 俊典 修道中学校・修道高等学校校長 4. 研修会運営方針説明 平方 邦行 英語 4 技能教育特別委員会委員長 5. 日 程 説 明 岡本 貴行 修道中学校・修道高等学校教諭 6. 閉 式																				
9:50-10:30	実践発表① テーマ「創造性と英語教育」(仮) 発表者 中川 千穂 工学院大学附属中学高等学校教諭																				
10:30-11:05	視察校紹介・施設見学 発表者 上田 道浩 修道中学校・修道高等学校高校教頭																				
11:05-12:05	授業視察 (3 限) <table><tr><td>学年・クラス</td><td>授業名</td><td>授業者</td></tr><tr><td>1年(中学1年)3組<前半></td><td>English Communication</td><td>Edward Shier</td></tr><tr><td>1年(中学1年)3組<後半> ※404教室</td><td>English Communication</td><td>恵島 聖</td></tr><tr><td>1年(中学1年)4組</td><td>英語</td><td>岡本 貴行</td></tr><tr><td>4年(高校1年)6組</td><td>C 英語 I</td><td>西川 省吾</td></tr><tr><td>5年(高校2年)5組</td><td>C 英語 II</td><td>小野 亮子</td></tr></table>			学年・クラス	授業名	授業者	1年(中学1年)3組<前半>	English Communication	Edward Shier	1年(中学1年)3組<後半> ※404教室	English Communication	恵島 聖	1年(中学1年)4組	英語	岡本 貴行	4年(高校1年)6組	C 英語 I	西川 省吾	5年(高校2年)5組	C 英語 II	小野 亮子
学年・クラス	授業名	授業者																			
1年(中学1年)3組<前半>	English Communication	Edward Shier																			
1年(中学1年)3組<後半> ※404教室	English Communication	恵島 聖																			
1年(中学1年)4組	英語	岡本 貴行																			
4年(高校1年)6組	C 英語 I	西川 省吾																			
5年(高校2年)5組	C 英語 II	小野 亮子																			
12:05-12:45	昼食																				
12:45-13:45	授業視察 (4 限) <table><tr><td>学年・クラス</td><td>授業名</td><td>授業者</td></tr><tr><td>2年(中学2年)1組<前半></td><td>English Communication</td><td>Edward Shier</td></tr><tr><td>2年(中学2年)1組<後半> ※304教室</td><td>English Communication</td><td>恵島 聖</td></tr><tr><td>2年(中学2年)6組</td><td>英語</td><td>成田 恒輝</td></tr><tr><td>3年(中学3年)6組</td><td>英語</td><td>森元 雅貴</td></tr><tr><td>5年(高校2年)6組</td><td>C 英語 II</td><td>藤島 真介</td></tr></table>			学年・クラス	授業名	授業者	2年(中学2年)1組<前半>	English Communication	Edward Shier	2年(中学2年)1組<後半> ※304教室	English Communication	恵島 聖	2年(中学2年)6組	英語	成田 恒輝	3年(中学3年)6組	英語	森元 雅貴	5年(高校2年)6組	C 英語 II	藤島 真介
学年・クラス	授業名	授業者																			
2年(中学2年)1組<前半>	English Communication	Edward Shier																			
2年(中学2年)1組<後半> ※304教室	English Communication	恵島 聖																			
2年(中学2年)6組	英語	成田 恒輝																			
3年(中学3年)6組	英語	森元 雅貴																			
5年(高校2年)6組	C 英語 II	藤島 真介																			
13:45-14:30	視察校発表・研究協議 視察校発表・授業視察を受けて意見交換を行います。 発表者 恵島 聖 修道中学校・修道高等学校教諭																				
14:30-15:15	実践発表② テーマ「ICT を活用したニューノーマルな授業のあり方」(仮) 発表者 岩瀬 俊介 学校法人石川高等学校・石川義塾中学校教諭																				
15:30-16:00	Workshop I Session1 <コース概要と目的> 講 師 Tanja McCandie ケンブリッジ大学出版 Japan Lead Teacher Trainer																				
16:00-17:30	Workshop I Session2 <Teaching Communicatively>																				

※日程・プログラム内容等は変更となる場合があります。 ※参加された先生方で意見交換会を行いますので、名刺をご持参下さい。

◆ 講師プロフィール ◆ Tanja McCandie ケンブリッジ大学出版 Japan Lead Teacher Trainer

Tanja McCandie has been involved in education for over 20 years, either as an English teacher, a publishing consultant, and/or a teacher trainer. She has taught in Canada, England and Japan. Tanja is currently working on her EdD in Educational Leadership, holds an MA in Applied Linguistics, a BED in Secondary Education and BA in Sociology. She also has DELTA, CELTA, and TESL certifications and is a Cambridge English Speaking Examiner. Currently she is the Japan Lead Teacher Trainer for Cambridge University Press and teaches at Nanzan University.

※当研修会は中止になりました

2月26日(土)

〔会場 修道中学校・修道高等学校 本館 3 階大会議室〕

9:00-9:30	WorkshopⅡ Session1 <Developing an English-speaking environment> 講 師 Tanja McCandie ケンブリッジ大学出版 Japan Lead Teacher Trainer
9:30-10:50	WorkshopⅡ Session2 <Developing speaking skills, and incorporating speaking into your coursebook>
10:50-12:10	WorkshopⅡ Session3 <Developing writing skills, incorporating writing into your coursebook>
12:10-13:00	昼食
13:00-14:20	WorkshopⅡ Session4 <Planning your teaching around your coursebook>
14:20-15:50	WorkshopⅡ Session5 <Micro teaching>
16:00-16:30	閉会式 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開 式 2. 総 括 平方 邦行 英語 4 技能教育特別委員会委員長 3. 閉 会

◆ Workshop 概要 ◆ ※研修内容に多少の変更が生じる可能性がございます。ご了承下さい。

令和4年2月25日(金) Workshop I	
Session 1 (30 min)	コース概要と目的 2 日間のトレーニングの目的を確認し、参加者の自己紹介、また現状認識とニーズを探ります。 参加者は複数の“Getting to know you activities”に参加するとともに、これらのアクティビティがどのようにセットアップされて行われるかを体感することで、自身の授業にも活用できるようにします。
Session 2 (90 min)	Teaching Communicatively コミュニケーションランゲージティーチングの特徴を確認し、それらが学習者の言語能力をどのように高めるかを学びます。 またセッションを通して先生としての役割を認識し、クラスで使えるコミュニケーションアクティビティを学びます。
令和4年2月26日(土) WorkshopⅡ	
Session 1 (30 min)	Developing an English-speaking environment 英語だけで行われるクラス環境の有用性を学び、クラス内で英語の使用頻度を高めるアイデアを共有します。
Session 2 (80 min)	Developing speaking skills, and incorporating speaking into your coursebook スピーキングスキルを向上させる基本的な条件や環境を学び、それらの環境を作るための実践的なアクティビティを学びます。 また教科書を使いながらこれらのアクティビティをどのように取り入れるか、アイデアを共有します。
Session 3 (80 min)	Developing writing skills, and incorporating writing into your coursebook ライティングスキルを向上させる基本的な条件や環境を学び、それらの環境を作るための実践的なアクティビティを学びます。 また教科書を使いながらこれらのアクティビティをどのように取り入れるか、アイデアを共有します。
Session 4 (80 min)	Planning your teaching around your coursebook セッション 2, 3 で学んだスキルとアクティビティを実践で活かすために、使用している教科書を用いて効果的なレッスンプランの作成方法を考察します。参加者は、他参加者と協同しレッスンプランの作成、評価が求められます。
Session 5 (90 min)	Micro teaching 参加者は他参加者と協同しあるターゲットを達成するための一連のアクティビティをプランし、実際にデモレクソンを行います。 デモレクソン後には、フィードバック共有と振り返りを行います。

◆ 参加者へのお願い ◆

- 当研修会において主催者記録係以外による録画・録音を禁止しております。また、講師・発表者の許可無く写真・内容等を HP・ブログや各種 SNS 等へ掲載することにつきましても禁止しております。ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。
また、今後、当研修会の広報活動等で主催者記録係が撮影した写真を使用させていただく場合がございます。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が映り込む可能性がございますので、予めご了承下さい。
- 視察校での写真撮影について、生徒個人が特定できる顔写真等の撮影は禁止とします。撮影した写真は学校内の研修や報告等に活用する場合に限り使用を許可しますが、学校のホームページや紀要・報告書等への掲載、参加者個人の SNS やインターネットのサイトへのアップロードは禁止とします。また撮影写真の使用後は速やかに破棄いただきますようお願い致します。また、動画(ビデオ撮影等)についてはすべて禁止とします。視察中は視察校の指示に従って行動して下さい。

※当研修会は中止になりました

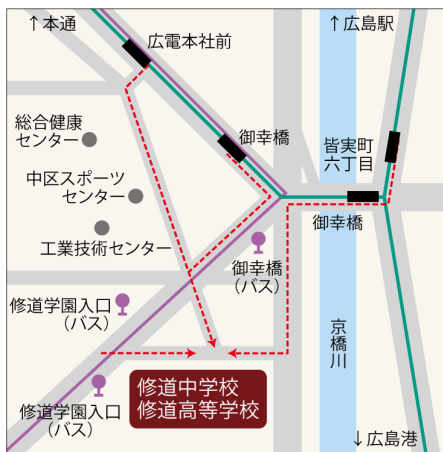
◆ 学校紹介 ◆ 修道中学校・修道高等学校（理事長 林 正夫／校長 田原 俊典）

建学の精神「道を修めた有為な人材の育成」は、建学以来、脈々と受け継がれる修道中学校・修道高等学校の教育の柱となっている。1725（享保 10）年の「講学所」創始時にはすでに「学問は自分の身を修めるもの」という教学の精神が示されており、1881（明治 14）年、浅野長勲（ながこと）が校長の山田養吉（十竹：じっちく）に「道徳を修むるを以つて本校の主義とすべきこと」「生徒の品行を正すべきこと」と教学の方針を示している。この建学の精神を実現するため、同校では、教学の目標として「知徳併進」を、その実践に向けた心得として「尊親敬師」「至誠勤勉」「質実剛健」を掲げている。また、同校では 6 年間の一貫教育で「自治向上の精神」を培う。生徒は「今、自分は何をなすべきか、何が最も大切なことなのか」を自覚し、他者との関わりの中で自らを律し、自主性を身につけていく。「責任ある自由」という言葉が示すように、細かな規則で縛らず、学年が上がるごとに生徒の裁量が増す自由な校風は、生徒一人ひとりの自主的で正しい判断に基づく行動に裏づけられた、自治向上の精神が生み出している。

※修道ベーシックループリック：「価値観」と「スキル」の 2 つの観点から示された「修道生として目指すべき姿」に向かって、生徒が自分の力で成長していく取り組み。「世界貢献」や「人間関係力」など 9 つの領域に 23 のテーマがあり、自分のレベルを高めるために必要な姿勢や行動をわかりやすく示している。毎年 2 回、自分の言動や行動をテーマごとに振り返り、「修道生として目指すべき姿」にどこまで近づいているか 5 段階の指標で確認する。自分の「現在地」を定期的に把握し、6 年間で着実にレベルアップを重ねていく。

※FLP（フューチャー・リーダーズ・プログラム）：FLP は、「未来のリーダー」としての資質と能力の向上を目指すプログラム。海外で学ぶ「UNSW コース」と国内で学ぶ「SHUDO コース」のいずれかに参加し、英語 4 技能はもちろん、「思考力・判断力・表現力」を育む多彩なプロジェクトに挑戦する。修道ベーシックループリックを土台に据えて、多様な文化的背景を持つチームで協働し、新しい価値観を創造するクリエイティブな能力も開発していく。高い志と自身の可能性を育み、グローバル社会で人生を切り開く力を身につけるプログラム。

◆ 会場案内 ◆ 修道中学校・修道高等学校



● JR 広島駅から

市内電車（広島電鉄）

- ・「紙屋町東経由広島港行①」に乗車、「御幸橋」電停で下車。
- ・所要時間約 30 分、「御幸橋」電停より徒歩約 5 分。
- ・「比治山下経由広島港行⑤」に乗車、「皆実町六丁目」電停で下車。
- ・所要時間約 25 分、「皆実町六丁目」電停徒歩約 10 分。

バス（広島バス）

- ・「広島駅 B ホーム 6 番」乗り場から「50 号（東西）線（アルパーク行）」に乗車、「修道学園入口」バス停で下車（所要時間／約 20 分）、徒歩約 2 分。

◆ 講師・発表者・指導員（順不同）◆

Tanja McCandie ケンブリッジ大学出版 Japan Lead Teacher Trainer

田 原 俊 典	修道中学校・修道高等学校校長
上 田 道 浩	修道中学校・修道高等学校高校教頭
恵 島 聖	修道中学校・修道高等学校教諭
岩 瀬 俊 介	学校法人石川高等学校・石川義塾中学校教諭
中 川 千 穂	工学院大学附属中学高等学校教諭
吉 田 晋	富士見丘中学高等学校理事長・校長
平 方 邦 行	一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

◆ 特別委員・指導員（順不同）◆

平 方 邦 行	一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長
岡 本 貴 行	修道中学校・修道高等学校教諭
中 川 千 穂	工学院大学附属中学高等学校教諭
佐 藤 貴 明	ドルトン東京学園中高等部教諭
佐々木 雄 太	吉祥女子中学高等学校教諭
川 本 芳 久	一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長